

令和6年度 相川学園静清高等学校 学校評価書

1 建学の精神	「産学一體」
2 教育目標	<p>本校の全ての教育課程・活動はこれを基盤とし目標とする。</p> <p>(1)勤労愛好 強健な身体と健全な精神の上に、豊かな情操を兼備して、真に勤労を愛好する有為な人材を育成する。</p> <p>(2)中庸と奉仕 正しい人生観と、公正な世界観を持つと共に、社会への奉仕を惜しまない有為な人材を育成する。</p> <p>(3)創意工夫 産業立国の精神に基づいて、創意工夫の能力を備えた有為な人材を育成する。</p> <p>(4)希望進路の成就 文理探究科卒業生の進路状況検証しつつ、普通科教育の充実努め、生徒の進路希望実現を図る。また、工業探究科についても就職内定率100%を目指す。</p>
3 学校評価目標	「社会貢献できる主体性のある生徒を育成する」

4 学校評価表

学校評価目標	具体的目標	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>文理探究科 大学進学を希望する生徒に絞った学科の為、少人数の学習集団の利を生かしたチューター制度による個別指導の充実、外国人講師による少人数での英会話レッスン等を内容とする「アカデミックセミナー」など、単なる受験指導に終始することなく生徒の多様な興味関心に応え、未来への視野拡大を目指す教育を志している。本年度は一層の充実を図り、国公立を含む4年制大学への進学希望を実現させたい。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7時限目を週3回ほど利用したアカデミックセミナーを実施し、英語基礎文法の総復習等、1年次1学期は中学校基礎学力の定着等、基礎力の徹底指導を行って生徒の苦手意識を払拭して高き志に結び付けたい。2年次以降は他教科を含め教育課程を補完する進学準備に有効活用する。</li> <li>・現1・2年でスタートし、担任とは別に3人程度の生徒の進路相談や学習アドバイスを行うチューターを当て、個別面談を充実させ、より身近で一人ひとりに寄り添った指導を実施した。チューターの質と人員確保が課題となる</li> <li>・進路指導ストーリーの実現の為、3年間を見通した校外模擬試験や資格試験、個別面談等の予定と意義づけを明確にした指導計画を作成し、生徒、保護者と共有した。</li> <li>・非常勤外国人講師による指導を通じて、英検の資格試験への挑戦をする生徒を増やすとともに、英語に親しみ積極的にコミュニケーションをする姿勢を育成に努めた。</li> <li>・年間指導計画と使用教副教材やデジタル教材等の精選と活用について大学入試を視点に見直しをかけ、習熟度授業を前提に研究することができた。</li> </ul>	A

<p>学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>工学探究科 主に実習や実技を通して、工業の学習を一步前進した「工学」として捉える学びを重視している。 専門学科のメリットを生かした大学入試等に対応できる学習プログラム、就職希望者の多様なニーズにも対応し、就職率100%を維持したい。本年度も、I類で開講した未来の教室「IT実習」を核とした先進教育のさらなる充実を図る。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITエキスパートコースでの未来の教室「IT授業」ではシステムシェアード社と業務提供をして3年が経ち、IT人材育成へ向けた本校独自の学習プログラムの作り始めた。</li> <li>・キャリアクリエイトコースでの未来の教室「ワークプラクティス」は工業技術者の育成を目指しており、本年度は4割ほどがインターシップ先の企業へ就職した。</li> </ul>	A
	<p>基礎学力の定着・授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業及び公開授業の実施</li> <li>・定期試験後の補習授業の実施</li> <li>・個人及び三者面談の実施 (年間5回)</li> <li>・進路指導・教養講座殿実施 (年間6回)</li> <li>・各種模試と報告会の実施 (文理探究科5回、工学探究科3回)</li> <li>・ICT機器を用いた授業の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の年次及び教科研修等に参加し、教員としての資質を向上させるための研修へ積極的に参加した。</li> <li>・定期試験後の補習等の情報を教員間で共有し、生徒がしっかりとした進路目標を持ちながら、授業へ取り組む為の環境をサポートした。また、必要に応じて個人及び三者面談を行った。</li> </ul>	B
	<p>生徒の進路を考えた授業及び各種講座の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の教室 「IT実習」 「ワークプラクティス」 「スポーツ科学」</li> <li>・進学プログラム 「アカデミックセミナー」 「チューター制」 「サマースクール」 他</li> <li>・各種講座の充実 「基礎学力講座」 「大学受験対策講座」 「公務員対策講座」 他</li> </ul>	A	<p>文理探究科の特進化と共に、定員200人を抱える「工学探究科の学び」についてのビジョン明確化と具体的対策の検討は今後の生き残りの要点であり、外部機関との連携を含めた研究と検討を行い、I類において「IT教育推進事業」を早期の教育実践として実施できた。II類については、「キャリアクリエイトコース」の改革を進め、施設・指導力に優れた教育機関や企業との連携を視野に、資格取得や技能獲得に力を入れた。 また、「スポーツ科学」「通信制課程」「DXハイスクール」等の実現と実践を進め、さらに「多様な生徒と時代のニーズ」に応える高等学校への進化を図る。</p>	A
	<p>資格取得へのチャレンジ (受験者及び合格者数の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定(英語・漢字他)</li> <li>・各種資格試験 (機械系・電気系・情報系他)</li> </ul>	B	<p>各種検定合格者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定 準2級1名 3級4名</li> <li>・英語検定 2級3名</li> <li>・第二種電気工事士 3名</li> <li>・危険物取扱者乙種第4類 1名</li> <li>・フォークリフト運転技能講習 47名</li> </ul>	B

<p>学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>資格取得へのチャレンジ (受験者及び合格者数の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定（英語・漢字他）</li> <li>・各種資格試験 (機械系・電気系・情報系他)</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン特別教育 40名</li> <li>・玉掛け技能講習 20名</li> <li>・小型車両特別教育 10名</li> <li>・高所作業車特別教育 40名</li> <li>・パソコン利用検定 3級43名 2級146名</li> <li>・情報技術検定 3級10名 2級29名</li> <li>・日本語ワープロ検定 3級61名 準2級7名 2級受験6名 準1級1名 1級0名</li> <li>・情報処理技能検定 3級68名 準2級19名 2級8名</li> </ul>	<p>B</p>
	<p>部活動・生徒会活動等での自立性、規律性、社会性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強化部活 男子硬式野球部 女子硬式野球部、 サッカー部 バレー部</li> <li>・運動部 卓球部、剣道部、硬式テニス部 ソフトテニス、バスケット部他</li> <li>・文化部 音楽部、書道部、情報研究部 他</li> <li>・同好会 ブレイクダンス、軽音楽、工遊会 他</li> </ul>	<p>A</p>	<p>主な成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール部 県高校新人大会準優勝 全日本高校選手権静岡県大会 準優勝 県高校総合体育大会準優勝 東海高校総合体育大会ベスト4</li> <li>・サッカー部 県高校新人大会ベスト16 県高校総合体育大会ベスト16</li> <li>・剣道部 県高校新人戦出場 団体</li> <li>・ソフトテニス部 県高校総体出場 団体 県高校新人大会出場 団体</li> <li>・卓球部 東海選手権大会出場 鈴木柊真 県高校新人大会出場 鈴木柊真</li> <li>・硬式テニス部 県高校新人戦出場 中嶋征棄</li> <li>・ゴルフ 全国高等学校選手権大会出場 男子個人の部 阿部羽流斗 他</li> </ul>	<p>A</p>
<p>ルール・モラル・礼儀を遵守し、誠実に人と接し、謙虚で他を敬う心を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の校門指導及び駐輪場指導</li> <li>・交通マナー指導・整容指導</li> <li>・あいさつ運動 他</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校での校門指導及び挨拶運動等を生徒会、PTAと共に定期的に行った。</li> <li>・生徒指導課を中心とした整容指導を月に1回実施した。</li> <li>・年間複数回数の個別面談を通じて生徒の状況理解に努め、問題行動、いじめなどの早期発見とともに、卒業後の将来ビジョンを具体的、明確に持たせ、その実現のための高校生活における目標を具体的に意識させることにより、健全で落ち着いた学校生活となるようサポートの確立を目指す。</li> </ul>	<p>B</p>

<p>良好な基本的生活習慣の獲得を家庭、学校で連携し身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット依存対策講座等の実施</li> <li>・Classi等を利用した保護者との情報共有 他</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立の為、ネット依存の対策講座等をPTA研修会等で実施した。事後アンケートで振り返りを行い、ネットとの付き合い方を考えさせた。</li> <li>・学習支援システムClassiの連絡ツールを利用して、生徒・保護者・教員のネットワークの構築を進めている。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>ボランティア活動を通し、社会貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人、団体問わず積極的に参加をすることに努める。</li> <li>・探究活動及び課題研究等を絡め、の背積極的に取り組む。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福度・自己肯定感の高い国と低い国の違いにボランティアへの参加数が比例すると言われており、ボランティア参加は心の成長に大きく影響する。個人、団体問わず積極的に参加を呼び掛けていく。</li> <li>※地域の方々と交流し、行えるようなボランティア活動を教えてほしい。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>あらゆる分野から個々に自信をつけさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価目標の全ての項目において、目標するの取り組みをする。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自信を持てるような個別目標を考える機会を与え、達成できたときに自己評価がしやすい環境を提供できるよう工夫した。今後も継続して行きたい。</li> <li>・様々な場面において、挑戦したことにおけるフィードバックする。また、失敗しても再挑戦すればいいという意識づけを行い、少しずつ自信をつけさせていく。</li> <li>・授業において小テストで点数をとれるような指導をしている。その積み重ねで定期試験においても点数をとれるようになることで自信をつけさせる。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>改善の可視化として、アンケート調査の数値目標を設定する。各項目A+B評価80%を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価目標の全ての項目において、目標するの取り組みをする。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成に向けて、常日頃から各自が意識を持ってない後とも取り組んでいく。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>関係者評価より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者数は減少したが、交通指導カード（違反切符）の発行数は大幅増加した。今後、しっかりとした対策を計画する必要がある。</li> <li>・学校改革が進んでいることはわかったが、地域と共に発展して行ってほしい。</li> <li>・地域防災について今後学校とのかかわりをに検討してほしい。</li> <li>・野球やサッカー等、スポーツで活躍してくれることは、地元としても嬉しい。</li> <li>・登下校で挨拶をしてくれる生徒がたくさんいてよい。</li> <li>・未来の教室はととても良い取り組みだと思う。更なる進化に期待する。</li> </ul>				